



2019年11月12日

各位

会社名 株式会社FHTホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 楊 暁軍  
 (コード:3777、JASDAQ)  
 問合せ先 取締役経営企画管理本部長 森蔭 政幸  
 (TEL. 03-6261-0081)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年2月12日の2019年12月期決算発表時に開示しました2019年12月期(2019年1月1日～2019年12月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2019年12月期の連結業績予想の修正(2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,237	91	86	64	0.51
今回修正予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B - A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(参考)前期連結実績 (2018年12月期)	1,879	10	△29	△52	△0.42

#### 2. 修正の理由

当社は、中長期的な当社グループの事業強化を行うことによる収益基盤強化、企業価値向上を達成することにより、その結果として既存株主の利益向上につなげることを目的に、2019年5月28日付「当社子会社による株式取得(孫会社化)に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、吉奥莱科特医疗健康科技(上海)有限公司が上海蓉勤健康管理有限公司の株式の一部を取得し、子会社化(当社の孫会社化)しており、その後、2019年7月16日付「子会社等の異動を伴う株式の取得に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、上海蓉勤健康管理有限公司を当社の子会社化することを決議しており、当社グループのヘルスケア事業の強化を図っております。

当社が、2019年2月12日の2019年12月期決算発表時に公表いたしました2019年12月期の業績予想でございますが、当社グループの中核事業の一つである再生可能エネルギー事業において、当社グループが保有している太陽光発電所を第三者へ売却並びに売電事業等を行うことを主軸に、売上、利益等を予想しておりましたが、2019年8月5日付「(開示事項の経過)連結子会社における太陽光発電所の譲渡代金の相殺に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、当社グループが保有していた2箇所太陽光発電所の譲渡に係る債権を、上海蓉勤健康管理有限公司の出資比率合計50.9%を取得する際の債務と相殺することといたしました。これにより、当社グループにおいて、当初予算策定時点に前提としていた事業が変更となったため、当初業績予想を変更する必要が生じておりました。

上海蓉勤健康管理有限公司の完全子会社である栖霞市东明置业有限公司が中国山東省栖霞市において養老介護に特化した富裕層向け施設の開発プロジェクト「栖霞長春湖壹号」を推進しており、当該プロジェクトは、全23棟の居住用ビル(総延床面積:約10万平米)に、老人介護施設、医療・健康サービス、文化・スポーツセンターを敷地内に建設するものであり、現在二段階に分けて施設等の開発を推進しております。第一期工事

は完成しており、積極的な販売促進活動を行ってまいりましたが、中国国内金融機関における融資制限および融資審査期間の長期化により、販売先であります顧客との契約締結までの時間を要していることから、2019年12月期第3四半期中に売上が本格化するに至りませんでした。引き続き、当該プロジェクトに係る売却取引の成立を目指した営業活動を継続しておりますが、現時点におきまして、販売先であります顧客が申請しております中国国内金融機関の融資状況の改善が不透明であるため、業績予想を未定としております。

今後、当該プロジェクトの販売による売上が予想可能となり次第、当期連結業績予想の修正に関するお知らせを適宜、開示を行う予定であります。

ご注意： 本資料に記載しております業績に関する予想値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なりますので、予めご了承ください。

以 上